

近組 2023-011 号

2023 年 6 月 16 日

学校法人 近畿大学
理事長 世耕 弘成 殿

近畿大学教職員組合
執行委員長 光永 靖

団体交渉要求書

近畿大学教職員組合は、学校法人近畿大学に対し、大学院産業理工学研究科における以下の問題の解決を要求する。

1. 要求書 2023-004 でも改善を要求したことであるが、博士課程 3 年で博士学位が取得できず、再入学 (D4) になった学生への指導が時間割に反映されず、無償労働 (増担等の手当なし) となっている。こうした事態を回避するための措置を講ずるとともに、相当額の手当を支給せよ。
2. 前年度に比べ大学院生数が増えているのに、前年度に提出した研究科予算案の金額がそのまま決定額となっている。院生が増えていること、院生の学費免除の原資を学部予算から出さなければならない状況であり、予算が逼迫している。また、博士論文の外部審査員について、D マル合で専門領域に通じた教員が 1 人しかいないため、外部副査を依頼することは正当な事由であると研究科長も認めているが、外部副査の謝金が現時点で 2 万円しか確保できていない。院生を増やす、博士論文審査で客観的な視点を確保するという目標があるならば、それに見合った予算措置が必要である。

回答は一週間以内とする。

以上